

NO. 150 (再掲) (6-4-10)

事業名	☆ 特別支援教育就学奨励費支給事業	NO. 69 参照
-----	-------------------	-----------

NO. 151 (6-4-11)

事業名	自立支援医療（育成医療）事業			健康づくり課		
事業概要 （目的）	18歳未満の児童で身体に障害があり、手術などを行うことにより、治癒又は障害が軽減される場合に、「世帯」の所得に応じて指定医療機関において医療費を助成する制度。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	給付決定件数 97件			自立支援医療（育成医療）の支給認定・医療費助成を行う。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

NO. 152 (6-4-12)

事業名	特別支援教育研修推進事業			幼保連営課		
事業概要 （目的）	幼稚園教員の専門的知識や技能を高めるため、特別支援教育に関する研究、訪問指導員による指導を行う。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問指導員による指導 14回（4園） ・ 指定園研修会 1回 ・ 指定園公開保育 2園 			引き続き事業を実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
			○			

NO. 153 (6-4-13)

事業名	☆ 岡山市立幼稚園訪問指導			幼保運営課		
事業概要 (目的)	支援を必要とする幼児の育ちとその幼児を取り巻く集団の育ちを助長するため、専門家が市立幼稚園を訪問し、特別支援教育の観点で指導・助言を行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	平成 31 年度から実施 訪問指導 2 園（2 回）			特別支援教育の充実を図るため、訪問指導の回数を増やす。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
			○			

NO. 154 (6-4-14)

事業名	障害のある児童への経済的支援			障害福祉課		
事業概要 (目的)	<p>①障害児福祉手当…法に定める 20 歳未満の常時介護を必要とする重度の障害のある児童に支給（所得制限あり。施設入所児は除く。）</p> <p>②特別児童扶養手当…法に定める在宅の 20 歳未満の障害のある児童を監護している保護者に支給（所得制限あり。）</p> <p>③岡山市児童福祉年金…条例に定める 20 歳未満の障害のある児童を監護して）いる保護者に支給（障害児福祉手当受給児、施設入所児は除く。）</p>					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>①障害児福祉手当 H30 支給実績 57,308 千円 受給資格者数 332 人 (H31.3 末現在)</p> <p>②特別児童扶養手当 (手当は全額国から支給) 受給資格者数 1,066 人 (H31.3 末現在)</p> <p>③岡山市児童福祉年金 H30 支給実績 27,510 千円 受給資格者数 759 人</p>			<p>①障害児福祉手当 継続</p> <p>②特別児童扶養手当 継続</p> <p>③岡山市児童福祉年金 継続</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	○

NO. 155 (6-4-15)

事業名	障害福祉サービス及び障害児通所支援の給付			障害福祉課		
事業概要 (目的)	障害者総合支援法に基づく居宅介護、行動援護、短期入所等のサービス及び児童福祉法に基づく児童発達支援、放課後等デイサービス等を給付する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	※障害者総合支援法に基づくサービスは障害者の実績を含む。 【延利用人数】 居宅介護 15,380 人、行動援護 488 人、短期入所 3,362 人、児童発達支援 14,173 人、医療型児童発達支援 51 人、放課後等デイサービス 18,647 人、保育所等訪問支援 379 人 【決算】 居宅介護 803,819 千円、行動援護 65,365 千円、短期入所 212,467 千円、児童発達支援 926,166 千円、医療型児童発達支援 1,257 千円、放課後等デイサービス 1,266,416 千円、保育所等訪問支援 6,924 千円			平成 29 年度に策定した「第 5 期岡山市障害福祉計画・第 1 期岡山市障害児福祉計画」に基づき、サービス利用の充実に努める。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

NO. 156 (6-4-16)

事業名	難聴児補聴器購入助成事業			障害福祉課		
事業概要 (目的)	身体障害者手帳交付対象外のため、補装具費の支給を受けられない軽度・中等度難聴児を対象に、補聴器購入費と市が定める基準価格とを比較して、少ない額の3分の2を助成する。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	事業費 1,045,800円 助成件数 14件			事業継続していく。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
		○	○	○	○	

(5) いじめ・不登校等への支援体制の充実

いじめや不登校などの問題を抱える子ども及びその保護者が、学校や地域で気軽に相談できる支援体制の充実を図ります。

NO. 157 (再掲) (6-5-1)

事業名	子ども相談主事配置事業	NO. 108 参照
-----	-------------	------------

NO. 158 (6-5-2)

事業名	思春期こころの健康相談			こころの健康センター		
事業概要 (目的)	精神的に不安定な時期にある思春期の子どもの問題行動が複雑・多様化しており、思春期精神保健対策を推進し、子どもの成長発達を支援する。					
内容	実績（平成30年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	相談延べ件数：30件			思春期年齢の子どもたちの相談に、精神科医などの専門職が応じる。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
					○	

NO. 159 (6-5-3)

事業名	青少年健全育成事業			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	市内青少年の非行防止と健全育成のため、岡山市青少年育成協議会、警察、学校その他関係機関及び団体等と連携し、岡山市青少年育成委員の協力を得て、青少年健全育成に関わる事業を総合的に実施する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>○巡回補導活動：計 496 回、 1,762 人従事 声かけ件数 4,367 件</p> <p>○健全育成活動： 岡山市小・中学生将棋大会 (8月2日)</p> <p>○「明るい家庭づくり」作文・絵・ ポスターコンクール 作文 4,147 点 ポスター・絵 157 点応募</p>			巡回補導活動、環境浄化活動、健全育成活動を総合的に実施し、関係機関、団体と連携した青少年健全育成を推進する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 160 (再掲) (6-5-4)

事業名	スクールカウンセラー配置事業	NO. 121 参照
-----	----------------	------------

NO. 161 (6-5-5)

事業名	いじめ専門相談員派遣事業			指導課		
<p>事業概要 (目的)</p>	<p>臨床心理士や公認心理師の資格を持ついじめ専門相談員を教育相談室に2名配置する。 学校からの要請を受け、学校を訪問し、いじめ防止対策会議やケース会議に出席したり、児童生徒や保護者の相談に当たったりする。 教育相談室に設置した「いじめ相談専用ダイヤル」に寄せられる電話への相談や面接相談に対応する。</p>					
<p>内容</p>	<p>実績（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理を専門とする「いじめ専門相談員」を教育相談室に配置し、いじめ等の事案で迅速かつ継続的に支援が必要なケースについて、当該児童生徒や保護者への支援や相談を行い、課題の解決や未然防止を図った。 「いじめ相談専用ダイヤル」のカードによる周知・啓発を行った。 いじめ電話相談件数：166件 学校等への派遣回数：58回 			<p>計画内容（具体的な取組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめの未然防止、または早期発見や早期対応を図るため、いじめ専門相談員を派遣する。 学校、保護者、地域に対して、啓発ポスター、カードを配付する等し、「いじめ相談専用電話」の周知を図る。 		
<p>対象ライフ ステージ</p>	<p>妊娠期</p>	<p>就学前 (3歳未満)</p>	<p>就学前 (3歳以上)</p>	<p>小学生</p>	<p>中高生</p>	<p>若者</p>
				○	○	

NO. 162 (6-5-6)

事業名	不登校児童生徒支援員配置事業			指導課		
事業概要 (目的)	子どもたちに積極的にかかわる意欲のある人材を学校に配置し、不登校及びその傾向のある児童生徒に対して、登下校時の保護者への連絡や付き添い、別室での支援等を行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒及び、不登校傾向にある児童生徒やその保護者に対して必要な援助を行うために不登校児童生徒支援員を配置し、不登校の未然防止や解決を図った。 小学校 48 校、中学校 34 校に配置 			<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒及び、長期欠席状況の児童生徒やその保護者に対して必要な援助を行うことにより、不登校の未然防止や解決を目指す。 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 163 (6-5-7)

事業名	問題行動等対策事業			指導課		
事業概要 (目的)	「いじめ防止対策推進法」の施行を受けて、教育委員会の附属機関として設置した「岡山市問題行動等対策委員会」において、いじめ等の問題行動の防止を実効的に行うための対策について審議する。また、いじめの重大事態発生時には、事実関係を明確にするための調査を行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ防止対策推進法」の施行を受けて、教育委員会の附属機関として設置した「岡山市問題行動等対策委員会」を開催した。 いじめの防止等のための対策や不登校の未然防止の対策を実効的に行うための対策を審議した。 3 回実施。 			<ul style="list-style-type: none"> 定例の委員会を年 3 回（7 月、11 月、2 月）開催して、問題行動及び不登校の原因や背景を分析し、未然防止や解決に向けた施策に反映する。 いじめの重大事態が発生した場合、教育委員会による調査が必要となった際に調査部会を設置する。 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 164 (6-5-8)

事業名	教育相談室・適応指導教室整備事業			指導課		
事業概要 (目的)	教育相談室及び適応指導教室を市内に設置し、市内在住の子どもや保護者、教職員等から、不登校や集団不適應等の課題や悩みについて、電話相談や面接相談、訪問相談等を行ったり、不登校児童生徒への自立のための支援を行ったりする教育相談体制を整える。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> 市内在住の子どもや保護者、教職員等から、不登校や集団不適應等の課題や悩みについて、教育相談室において電話相談や面接相談、訪問相談等を行った。 適応指導教室において、電話相談や面接相談、不登校児童生徒への自立のための支援を行った。 教育相談室相談件数 5,764 件 訪問相談件数 延べ 381 件 適応指導教室通室者数 83 名 適応指導教室相談件数 3,655 件 			<ul style="list-style-type: none"> 教育相談室において、市内在住の子どもや保護者、教職員等から、不登校や集団不適應等の課題や悩みについて、電話相談や面接相談、訪問相談等を行う。 市内に 5 か所の適応指導教室を設置して、電話相談や面接相談、不登校児童生徒に対する自立や学校復帰に向けた支援を行う。 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 165 (6-5-9)

事業名	学校問題解決サポート事業			指導課		
事業概要 (目的)	学校だけでは解決困難な事案について、サポートチーム（弁護士、精神科医師等の専門家）による助言・支援を行ったり、重大事案やケース会議等に、弁護士等の専門家を派遣したりする。 また、弁護士を講師とした教職員研修を実施して、学校の対応力向上を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者や地域住民との間で生じた学校だけでは解決困難な問題に対して、その早期解決 			<ul style="list-style-type: none"> 原則月 1 回の定例会を開催して、学校の抱えている問題への助言・支援を行う。 		

	を図る。 ・学校問題解決専門相談員による定例会での事例検討及び緊急支援を実施した。 ・ケース会への派遣、弁護士による教職員を対象とした研修会を実施した。 定例会 12 回 緊急支援 30 回 ケース会 32 回 研修会 12 回			・児童生徒の命にかかわるケースや裁判が想定されるケース等で、臨床心理士、弁護士等の専門家を学校に派遣して支援する。 ・警察OB等により、学校と警察、児童相談所等との連携を支援する。 ・学校の対応力の向上を図るため、弁護士等による研修会を6福祉地区で2回ずつ、年間12回実施する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 166 (6-5-10)

事業名	生徒指導関係事業			指導課		
事業概要 (目的)	児童生徒の健全な成長を促し、現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成に向けた施策を計画・実施する。					
内容	実績(平成30年度)			計画内容(具体的な取組み)		
	<ul style="list-style-type: none"> 担当者への説明会(連絡協議会)の実施。 (生徒指導担当者説明会、新任生徒指導担当者説明会、地区別小・中学校生徒指導担当者会、地区別学校警察連絡会中学校部会、不登校担当者説明会等) 生徒会代表への啓発 全国いじめ問題子どもサミットへの担当教員・生徒の派遣 しゃべりんぴっく(生徒会の集い)の開催 			<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導、危機管理、長期欠席・不登校等に関する説明会、連絡協議会を実施し、児童生徒への指導力の向上を図る。 生徒会代表への啓発を行い、各中学校での生徒会活動の活性化を図る。 暴力行為、いじめ、長期欠席・不登校等、子どもを取り巻く深刻な状況の的確な把握・分析や国及び全国の効果的な施策や取組事例等の情報収集を行い、未然防止や課題解決に向けた施策を計画・実施する。 (令和2年度に、共に成長し合う学級集団づくり推進事業を統合予定) 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	

NO. 167 (6-5-11)

事業名	☆ 教育支援アドバイザー配置事業			指導課		
事業概要 (目的)	<p>学校教育又は、青少年健全育成の経験を有する教育支援アドバイザーを小学校に配置し、暴力行為やいじめ等の問題行動の未然防止に参画するとともに、組織的な対応力を高めるために、教職員と連携して生徒指導及び特別支援教育等の校内体制づくりを支援する。</p>					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<p>暴力行為の発生件数やいじめの認知件数等が多い小学校に「教育支援アドバイザー」を配置し、問題行動の未然防止に参画するとともに、生徒指導体制・特別支援教育の校内体制づくりに対して助言する。 市内の小学校 5 校への配置を行った。</p>			<p>小学校に教育支援アドバイザーを配置して、家庭や関係機関等との連携を進める等の暴力行為やいじめ等の問題行動の未然防止に向けた校内生徒指導体制づくりを推進する。</p>		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○		

柱 7 若者の健全な成長と自立の支援

(1) 次世代の親の育成

これから親になる世代に正しい性の知識や命の尊さ、子育ての大切さを学ぶ場を提供します。また、思春期の子どもを対象に相談も行います。

NO. 168 (7-1-1)

事業名		いのちを育む授業			健康づくり課	
事業概要 (目的)	モデル校を指定し、学校、保健所、保健センター、教育委員会、地域ボランティア等が連携し、思春期の子ども（中学生）が乳児とその保護者と交流することで生命の尊さ・生命を育む大切さを学ぶ					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	市内 9 校で実施			<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回目：ふれあい体験事前授業（赤ちゃん人形を使用） ・ 2 回目：乳児ふれあい体験授業（親子ボランティアとの交流） ・ 3 回目：「いのち」に関するまとめの講演 		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）		
実施校数		9 校		9 校		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
					○	

NO. 169 (7-1-2)

事業名	エイズ・STD・性教育出前講座			保健課		
事業概要 (目的)	学校や地域等幅広い対象にエイズ・性感染症についての正しい知識の普及啓発を行い、性について見つめ直す機会を充実する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	【対象】地域住民、学校、企業等 【実施回数】78回 【受講者数】12,151名 【事業費】H30 決算 1,170 千円			例年、定員に近い申し込みがあるが、主な実施先は学校（小学校～大学・専門学校）となっており、青少年に対する普及啓発の機会となっているが、20～40代への普及啓発の機会が乏しい。 今後、MSM 対策等も考慮して、企業での出前講座実施の働きかけを考慮したい。 R1 年も例年並み事業実施。 R1 予算 1,200 千円。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	○

NO. 170 (7-1-3)

事業名	思春期電話相談事業			健康づくり課		
事業概要 (目的)	電話を通じて、思春期の健康問題に関する相談に応じ、適切な保健指導を行うとともに、健康の保持増進と性意識の健全育成を図る。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	男性 300 件、女性 17 件			電話による健康相談 中学生に事業内容を書いたカードを配布し、事業周知を図る。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
				○	○	○

(2) 若者の社会的自立支援

若者の就業の支援を行うと同時に、就業しにくい若者への支援を行います。
また、未婚化・晩婚化への対策として、出会いの場の提供を行います。

NO. 171 (7-2-1)

事業名	働き方改革推進・企業情報 PR 事業			産業振興・雇用推進課		
事業概要 (目的)	学生へ働きやすい職場づくりに取り組んでいる企業の PR を行うとともに、企業へ事例を紹介するために、巻頭に働きやすい職場づくりに取り組んでいる企業を特集した企業情報冊子を作成する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	市内企業の情報を掲載した企業情報冊子を作成し、新規学卒予定者をはじめとした求職者に配布した。また、働きやすい職場づくりに取り組んでいる企業について、冊子の巻頭に特集ページを設けた。 企業情報 201 社 特集企業 13 社 フルカラー 6,000 冊			より読みやすい冊子とするために、一部修正を加えながら同様の冊子を作成する。		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値 (令和 6 年度)		
紹介企業数		201 社		1,000 社 (累計)		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
						○

NO. 172 (7-2-2)

事業名	合同企業説明会			産業振興・雇用推進課		
事業概要 (目的)	市内企業への就職促進を目的として、新規学卒予定者等求職者を対象とした合同企業説明会を開催する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	市内企業への就職促進のため合同企業説明会を開催した。 8月8日、9日 109社 267人 10月16日 48社 90人			合同企業説明会を年2回開催する。		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）		
参加者数		357 人		2,500 人（累計）		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
						○

NO. 173 (7-2-3)

事業名	☆ 学生と地元企業の交流事業			産業振興・雇用推進課		
事業概要 (目的)	市内企業の人材確保を支援することを目的として、学生の市内企業への理解と関心を深め、就職先の視野を広げる。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	市内のカフェで学生と若手社会人の交流会を実施した。 学生 98 人参加			市内のカフェ、市内大学の構内、県外のカフェ等で学生と若手社会人の交流会を実施する。		
指 標		基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）		
参加者数		98 人		500 人（累計）		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
						○

NO. 174 (7-2-4)

事業名	☆ 中高生を対象とした合同職場体験イベント 開催事業				産業振興・雇用推進課	
事業概要 (目的)	中学生、高校生の段階から市内企業の仕事内容、働いている人、製品等について知る機会をイベントの開催を通して提供することで、将来を見据えた進学並びに就職活動の幅を広げると共に、将来岡山市での就職を促進することを目的とする。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	中学生・高校生を対象とした市内企業による仕事体験イベントを開催。8月18日 25社 495人			中学生・高校生を対象とした市内企業による仕事体験イベントを開催する。 夏休み期間中に開催予定		
指 標			基準値(平成 30 年度)		目標値（令和 6 年度）	
イベント参加者数			495 人		2,500 人（累計）	
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
					○	

NO. 175 (7-2-5)

事業名	新成人の集い事業				地域子育て支援課	
事業概要 (目的)	新成人が自らの意思による行動の責任を負う人格をもつようになったことを自覚するとともに、将来を担う一員になったことを自覚する機会を提供するために、新成人の有志が実行委員会となり、企画・運営を行う。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	開催日：1月13日 参加者：5,300人(7,724人中) テーマ「花束～想いを込めて～」 実行委員：8人			新成人主体で運営する、実行委員会形式による、「新成人の集い」を継続する。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
						○

NO. 176 (7-2-6)

事業名	青年ボランティア育成事業			地域子育て支援課		
事業概要 (目的)	青年ボランティアを育成し、そのネットワーク化を図り、青年の社会活動・社会参画を推進。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	・「青年地域ボランティア研修会」 3 回実施、参加者 47 名			岡山市青年ボランティア育成事業補助金の交付を継続していく。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
						○

NO. 177 (7-2-7)

事業名	出会いのひろば事業			こども企画総務課		
事業概要 (目的)	未婚化・晩婚化対策として、独身者を対象とした出会いのきっかけづくりの場を提供する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	市民協働で事業を実施。 3 回実施、106 名参加 ・ボウリング、クッキング、 セミナー、ティパーティー			実行委員会や婦人会等と協働し、内容を工夫しながら実施していく。		
指 標			基準値(平成 30 年度)	目標値（令和 6 年度）		
事業参加者のうちカップル成立数			—	45 組（累計）		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
						○

NO. 178 (7-2-8)

事業名	岡山キャリアスタートウィーク事業			指導課		
事業概要 (目的)	全ての中学校で地域の事業者との協働による職場体験活動を実施する。生徒の傷害保険・賠償責任保険の保険料を負担する。本事業を実施する中学校の「地域職場体験活動推進会議」へ補助金を交付する。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市内の中学生を対象に、学区や地域における職場体験活動を実施し、生徒の望ましい職業観や勤労観の育成を図った。 全中学校第 2 学年（約 5,700 人）協力事業所数 2,139 か所 			<ul style="list-style-type: none"> 義務教育段階において子どもたちに社会的自立の基礎を培う要となるものであり、本市の「街づくり」「人づくり」を推進していく上で大変重要な事業であり、岡山市内の全ての中学校での実施を継続する。 厳しい社会を力強く生き抜く基礎的・汎用的能力を育成するために、職場体験を受け入れる事業所の数を増やす。 		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
					○	

NO. 179 (7-2-9)

事業名	ひきこもり地域支援センター事業			こころの健康センター		
事業概要 (目的)	ひきこもりの状態にある本人や家族が、地域の中でより支援に結びつきやすくするために、ひきこもりに特化した相談窓口であるひきこもり地域支援センターを設置し、ひきこもり本人や家族等への支援を実施。					
内容	実績（平成 30 年度）			計画内容（具体的な取組み）		
	相談実件数：238 件 相談延べ件数：3,759 件 （電話 2,287 件、面接 1,032 件、訪問 440 件）			ひきこもりの本人・家族からの相談に対応。外出や対人交流など社会参加事業や、就労に向けた支援を行う。		
指 標			基準値(平成 30 年度)	目標値（令和 6 年度）		
相談実件数			238 件	250 件		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3 歳未満)	就学前 (3 歳以上)	小学生	中高生	若者
					高○	○

NO. 180 (再掲) (7-2-10)

事業名	岡山市生活困窮者自立相談支援事業	NO. 126 参照
-----	------------------	------------

NO. 181 (7-2-11)

事業名	消費・計量出前講座			生活安全課		
事業概要 (目的)	計量の普及・啓発を目的として小学生を対象とした重さの授業や夏休みを利用した出前計量講座を実施。また、環境学習を主にした小学生向け消費講座も実施					
内容	実績 (平成 30 年度)			計画内容 (具体的な取組み)		
	(計量) 18回 501名 (消費) 2回 38名			計量の出前講座は順調に申し込みがあり、今後も拡充する予定。 消費生活講座については、前年並の実施を予定。		
対象ライフ ステージ	妊娠期	就学前 (3歳未満)	就学前 (3歳以上)	小学生	中高生	若者
				○		

3 評価指標・数値目標（目標事業量）等一覧

☆：評価指標

項 目		平成30年度 (実績)	令和6年度
柱1 仕事と子育ての両立のための基盤整備			
1-① 就学前教育・保育の充実			
☆ 保育所等の待機児童数		353人 (H31.4.1)	0人 (R7.4.1)
保育の受け皿確保	保育所等での2号・3号認定の利用定員	18,967人 (H31.4.1)	22,200人 (R7.4.1)
延長保育事業	実利用人数	5,818人	5,861人
病児保育事業	延利用人数	5,581人	13,872人
最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進事業	市立幼保連携型認定こども園の整備数	12園 (H31.4.1)	36園 (R7.4.1)
	市立幼稚園及び保育所の社会福祉法人・学校法人への移管数	3園 (H31.4.1)	17園 (R7.4.1)
免許資格取得等支援事業	幼稚園教諭免許・保育士資格未取得者数	20人	0人
保育士確保支援事業（保育士・保育所支援センター事業）	潜在保育士登録者数	104人	毎年度 130人
1-② 放課後児童クラブの充実			
☆ 放課後児童クラブへの入所希望に対する入所児童の割合の上昇	放課後児童クラブへの入所希望児童に対する入所できた児童の割合	91.5%	100%
放課後児童健全育成事業	放課後児童クラブ利用児童数	7,313人	10,039人
放課後児童クラブ施設の充実	施設確保が必要な児童クラブ数 (1.65㎡未満/人)	42クラブ	0クラブ
柱2 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進			
2-① 仕事と子育ての両立支援			
☆ 男性の育児等への積極的参加	「3歳児アンケート」で「平日育児に参加する時間」について1時間以上と回答した父親の割合	55.1%	60.0%
柱3 母子の健康づくりへの支援			
3-① 安心して妊娠・出産できる環境の充実			
妊婦一般健康診査事業	受診率	98.1%	99.0%
産婦健康診査	受診率	—	90.0%
3-② 親子の健康を支える相談・支援の充実			
おかやま産前産後相談ステーション事業	専門職による面接割合	67.6%	100.0%
こんにちは赤ちゃん事業	訪問率	97.0%	100.0%
赤ちゃんすこやか相談	利用率	42.0%	45.0%
養育支援訪問事業	延べ訪問数	556人	700人
乳幼児健康診査事業	健診受診率〔3～5か月児〕	94.6%	98.0%
	健診受診率〔1歳6か月児〕	95.2%	97.0%
	健診受診率〔3歳児〕	94.0%	95.0%

項 目		平成30年度 (実績)	令和6年度	
柱4 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援				
4-① 育児不安の軽減と子育て家庭の孤立化の防止				
☆	子育てが楽しいと感じる保護者の割合の向上	「子ども・子育て支援に関するアンケート」の「子育ては楽しいか」で、「どちらかといえば楽しいことのほうが多い」と回答した割合	70.5%	78.0%
	子育てしやすいまちと思う保護者の割合の向上	「子ども・子育て支援に関するアンケート」の「子育てしやすいまちと思うか」で、「そう思う、どちらかといえばそう思う」と回答した割合	54.4%	65.0%
	一時預かり事業	延利用者数	78,431人	198,163人
	ファミリーサポート事業	活動件数	9,706件	10,016件
	子育て短期支援(ショートステイ)事業	延利用日数	841日	950日
	利用者支援事業(特定型)	保育利用者支援員による年間相談対応件数	16,110件	16,000件
	子育て応援サイト(こそだてぼけっと)運営	年間アクセス件数	1,271,694件	1,200,000件
4-② 子育てについて学ぶ親等への支援				
	スクールランチセミナー	「セミナーで学んだことを自らの食生活に生かしたい」と回答した参加者の割合	93.6%	98.0%
柱5 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり				
5-① 地域社会の子育て力を高める				
☆	家族で地域行事に参加していると答えた保護者の割合の向上	「岡山市教育に関する総合調査」	64.3%	68.0%
	地域子育て支援拠点事業	利用延べ人数(0~2歳児)	68,781人	73,738人
	子育て支援「のびのび親子広場」事業	地域の子育てを支援していく役割を果たしていると答えた園の割合	58.0%	75.0%
5-② 安全・安心の地域子育て環境の整備				
	プレーパーク普及事業	開催か所数	12か所	15か所
	放課後子ども教室推進事業	開設か所数	24か所	24か所
5-④ 生活や学習の基盤づくり				
	食育の推進	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	82.2%	100%
5-⑥ 地域に開かれ信頼される学校園づくり				
☆	学校からの情報提供に関する保護者の満足度の向上	「岡山市教育に関する総合調査」	86.2%	90.0%

項 目		平成30年度 (実績)	令和6年度	
柱6 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援				
6-① 子ども虐待の防止と子どもと家庭の支援				
☆	子ども家庭総合支援拠点の設置	子ども家庭総合支援拠点の設置数	—	6か所
6-② 社会的養護の推進				
☆	里親養育包括支援事業	里親等委託率	14.0%	34.9%
		委託子ども数（ファミリーホームを含む）	31人	75人
		里親登録数	70組	151組
☆	民間の児童養護施設等の整備及び環境改善支援	小規模かつ地域分散化された児童養護施設等の個所数と入所こども数	4か所 24人	5か所 30人
		社会的養護自立支援事業	退所前講座実施か所数	1か所
6-④ 障害、発達に遅れのある子ども・若者への支援				
	社会参加プログラム事業	社会参加プログラムに参加して就労に関するステップアップに至った発達障害者	5人	5人 (毎年)
柱7 若者の健全な成長と自立の支援				
7-① 次世代の親の育成				
	いのちを育む授業	実施校数	9校	9校
7-② 若者の社会的自立支援				
	働き方改革推進・企業情報PR事業	紹介企業数	201社	1,000社 (累計)
	合同企業説明会	参加者数	357人	2,500人 (累計)
	学生と地元企業の交流事業	参加者数	98人	500人 (累計)
	中高生を対象とした合同職場体験イベント開催事業	参加者数	495人	2,500人 (累計)
	出会いのひろば事業	事業参加者のうちカップル成立数	—	45組 (累計)
	ひきこもり地域支援センター事業	相談実件数	238件	250件